

GAP取得件数日本一を目指す福島県の若手農家とフード&デザインユニット・Lunny's VeggieのGAP給食イベント！「土曜日の学校給食～未来の食を育てる人・作る人のお話～」を開催

2018年12月8日(土) IID世田谷ものづくり学校にて開催！

一般社団法人 東の食の会、東京五輪の選手村提供食材の調達基準であるGAP認証件数取得日本一を目指す福島県のGAP取得食材を用いた創作メニューを味わう給食イベント「土曜日の学校給食～未来の食を育てる人・作る人のお話～」を2018年12月8日(土)に、中学校をリノベーションした施設、IID 世田谷ものづくり学校にて開催します。また下記URLにてチケットを絶賛発売中です。

●チケット購入サイト：<https://kyusyoku.peatix.com>



会場は、元中学校をリノベーションした施設「IID世田谷ものづくり学校」の教室！

給食前の授業（トーク）は、GLOBAL G.A.P. を約1年半という異例の早さで取得した桃農家の羽根田幸将氏（はねだ桃園：福島県桑折町）、JGAP取得に向けて準備を行っている酪農家の清水大翼氏（ファームつばさ：福島県鮫川村）、Lunny's Veggieの4名から、高い品質の食を生み出す秘訣や食と農業の魅力についてのお話を伺います。

美味しい給食は、菜園料理家の藤田承紀氏と、キャラクターアーティストのタロアウト氏によるコラボレーションユニットLunny's Veggie(ラニーズベジ)にGAP取得野菜でつくった料理をつくっていただきます。

昔懐かしい教室で、食を知るトークと美味しいベジ給食を囲みませんか？

大人も子どもも楽しめるイベントです。

「土曜日の学校給食～未来の食を育てる人・作る人のお話～」は、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、「平成30年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査に係る試行プロジェクト」として実施されています。



beyond 2020

- 1、GAPとは？
- 2、明日の食生活がより豊かになる生産者と料理人のトーク
- 3、福島県の農作物がこの日だけのGAP給食に
- 4、乳クリエイターの牛乳がウェルカムドリンクに
- 5、福島県のおいしい！をお持ち帰り
- 6、イベント概要
- 7、参加方法
- 8、主催者について

1、GAPとは？

GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）は、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

福島県は2020年までに都道府県別のGAP取得数日本一を目指している。GLOBALG.A.P.とJGAP合わせて141件、ふくしまGAPは220件の認証取得を目指している。

2、明日の食生活がより豊かになる生産者と料理人のトーク

GAPの取得と食の安全、おいしさなどについて生産者と料理人から直接お伝えすることで、お客様に食材の魅力を立体的にお届けすることを目指しています。

【ゲスト紹介】

▷～Lunny's Veggie（ラニーズベジー）～



「未来の笑顔シェアする」をコンセプトに活動する藤田承紀とタロアウトによるフード&デザインユニット。

環境省の「つなげよう支えよう森里川海プロジェクト」のアンバサダーも務める。

全てのボーダーを越え、皆が一つの食卓を囲める料理を。

手に取った人が、家族のように迎え入れ、大切にしてくれるデザインを。

その輪がどんどん広がり、未来の笑顔に繋がる継続的な活動になるよう、日々奮闘中。

Web : <https://www.facebook.com/lunnysveggie>

▷藤田 承紀氏
菜園料理家



福祉レストラン「らんどね空と海」シェフ。
イタリアでの料理修行後に帰国し、年間100種を超える野菜を無農薬で栽培しながら「菜園料理家」として、飲食店立ち上げ、メディア出演、料理学校講師等の活動を行う。
誰もが同じ食卓を囲める「ワンテーブル」をモットーとし、動物性食材やアレルギー食材を使用しない「ヴィーガンイタリアン」を得意とする。
書籍は『野菜のスープ』『野菜のチップス・果実のチップス』。
現在、各種アレルギー、ビーガンに対応した料理教室、ケータリング、レシピ開発を展開。

▷タロアウト氏
キャラクターアーティスト/イラストレーター



それぞれの作品には、ひとつひとつ愛情あふれるストーリーが設定されていて、誕生させるという感覚だというその世界観は日本のみならず海外でも絶大な人気を誇る。代表作にDiorファインジュエリー・ゴルメットちゃん、Nike+・ランランらんなど。最近では、ジョンマスターオーガニックやスターバックスのイラストを手がける。現在は東京に在住し、創作活動を行っている。

Web : <http://tarout.net>

▷羽根田 幸将氏 : はねだ桃園 (桑折町)



桃農家の三代目。

300本程の桃の木の徹底した管理を行い、最高の完熟桃を生み出している。
準備から約1年半という異例の早さで、2016年9月にGLOBALG.A.P.を取得。
国際認証を生かし国内外への販路拡大を目指している。

「ITで、ジャパン・ブランド桃をつくる」"桑折町スマート農業実証協議会"に参加。

Web:<https://www.facebook.com/はねだ桃園-1753476444923948>

▶清水大翼氏：ファームつばさ（鮫川村）



通称“乳（ちち）クリエイター”

関東の大学を卒業後、2年間北海道で研修を行ったのち、2012年にUターンして始めた酪農家。
栄養価が高く濃厚な味わいのミルクが採れるジャージー牛だけを夫婦で育て、乳搾りも、一頭ずつ丁寧に搾っている。

現在、ジャージー牛乳の濃厚さを活かした加工品の開発や、JGAP取得に向けて準備を行っている。

Web：<https://www.facebook.com/ファームつばさ-888113298005753>

3、福島県のGAP取得農作物がこの日だけのGAP給食に

授業の後は美味しいGAP給食が待っています。

GAP認証を取得した福島県の野菜や果物をふんだんに使った料理ををLunny's Veggieさんに作って頂きます。

<当日のメニュー>

- ・ロースト白菜、カラフルトマトとイチゴのマリネ
- ・ルレクチェとフリルレタスのサラダ
- ・柿と小松菜とくるみのサラダ
- ・フルーツトマト、キャベツ、ネギ、ニラ、干し椎茸のスープリゾット
- ・焼きりんご

*都合により一部メニューが変更となる場合がございます。ご了承ください。



*写真はイメージです

Lunny's Veggieは、人と環境に優しい食材を残す為、アレルギーや宗教を問わず同じ食卓を囲める食事の提案として、「オーガニック」「植物性食材」をテーマにしたベジ料理を手掛け、野菜の可能性を開拓しています。



4、乳クリエイターの牛乳がウェルカムドリンクに

福島県内でも出回っていない乳クリエイターのジャージー牛乳をウェルカムドリンクとしてお出しします！濃厚で自然な甘みの特徴のクリーミーな牛乳をぜひ味わって頂きたいです。

*その他ソフトドリンクもご用意しております。



5、福島県のおいしい！をお持ち帰り



今回のイベントでは、「福島そだち りんごポリフェノールのチカラ」をプレゼント！

福島県で太陽をたくさん浴びて育ったりんごを100%使用し、セミドライ製法でみずみずしくてしっとり甘いドライフルーツを実現！

この商品は、日本発、世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人TABLE FOR TWO Internationalと東日本食品産業の長期的支援を目的に活動する一般社団法人東の食の会による、食べて社会貢献ができる商品です。

詳細URL：<https://rin-po.com/>

6、イベント概要



【日時】

2018年12月8日（土）12：00～15：00（11:45開場）

【会場】

IID世田谷ものづくり学校 3階 301号室

住所：東京都世田谷区池尻 2-4-5

MAP：<https://goo.gl/maps/LQa3mC6P8bu>

【参加費】

- ・11月限定！早割大人チケット：1800円
- ・子どもチケット（小学生～高校生）：1000円
- ・小学生未満：無料
- ・12月～通常大人チケット：2300円

～Lunny's Veggie特製給食とドリンクのセットとなっております。～

【ご協力頂きたい持ち物】

心豊かでエコな暮らしを提案！マイ食器持参で楽しみませんか？

こちらの食器類の持参にご協力をお願いいたします。

- ・MY箸
- ・MY取り皿
- ・MYコップ

7、参加方法について

一般のご参加については以下フォームよりお申込みください。

<https://kyusyoku.peatix.com>

(席が限られているため、ご希望の方はお早めにお申込みをお願いできますと幸いです)

8、主催者について

▷一般社団法人 東の食の会

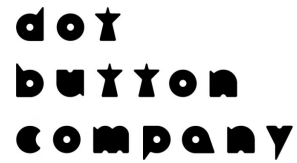


一般社団法人東日本の食の会は、東日本の食文化を世界に発信することを目指し、販路のマッチングや、商品プロデュース、人材育成を行っています。東北から新しい食のブランドがどんどん生まれる状態にすることを目指し、三陸の水産業や福島の農業のプラットフォームを創り、運営しています。

URL:<https://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>

■ 協力

▷dot button company株式会社



dot button company株式会社は、ファンマーケティングを軸に、戦略設計からキャスティング・ディレクション・イベント企画など一気通貫でプロデュースしております。

当社は「体験を開発する」を理念に掲げ、様々な社会問題をビジネスの手法で解決するプロジェクトを推進しております。

URL : <https://dotbuttoncompany.com>

<問い合わせ先>

dot button company株式会社

担当：藤原

fujihara@dotbuttoncompany.com

080-6394-2079